

# 学生系オンライン申請ユニット

## ①グッドプラクティスの発見

- ・ 学生窓口担当部署へのアンケートの実施、先行事例の収集
- ・ Power Automateを用いた事例から**双方向型の申請受付システムの自主開発が可能であることを発見**

## ②システムの開発

- ・ Power Automateにより、Forms、SharePoint、Teams、Outlookを組合せてシステム作成

システム名	見込まれる効果
<b>各種奨学金申請システム</b> : 学内選考のある民間奨学金等の申請受付	・ 学生の負担軽減: <b>交通費・移動時間</b> ・ 窓口業務の削減: <b>繁忙期 (3~5月) 45~83時間</b> ・ データ起こし作業の削減: <b>繁忙期 (3~5月) 45~83時間</b>
<b>公欠申請システム</b> : 公欠の申請受付・許可通知	・ 学生の負担軽減: <b>交通費・移動時間+窓口での時間 (1人約10分)</b> ・ 窓口業務の削減: <b>年間125時間 (申請者1名あたり5分)</b>
<b>学籍異動受付システム</b> : 休学・退学・復学の申し出の受付、手続の連絡、情報共有	・ 学籍担当と奨学金担当の間で <b>速やかな情報共有</b> ・ <b>奨学金の過払い等の防止</b>

## ③情報提供

- ・ システムの作成マニュアル、Formsの利用例を学生窓口担当部署へ紹介
- ・ システム導入はマニュアルを参照して各自での作成が必要
- ・ マニュアル・事例の紹介により各自での応用に期待

## 次年度に向けて

- ・ システム運用後の不具合対応
- ・ システムやマニュアル等の利用促進
- ・ デジタルを活用した業務改善のサイクルを回す

## デジタル活用による業務改善のサイクル

